

週刊すず辰^{たっ} (第355号) 令和1.9.2

火曜だけ18:30まで。

◆ちよっとまじめな話:自分で他人の靴をはいてみる。◇

今週も、“すず辰(すずたっ)”が厳選しました農家さんの野菜(果物)たちをお買い上げいただきありがとうございます。ぜひおいしいもの好きなお友達・お知り合いにもお声かけください。お客様の輪が八百屋の力になります。

●今週のピックアップ商品○(来週もあります。)

福島の梨が始まりました。

桃に続いて、福島の梨が始まりました。まずは幸水。これに豊水、二十世紀、新高、南水、秋月などが続きます。

我が家で梨を食べるのはなぜか、私と女房と長男だけなのですが、梨のあの優しい奥ゆかしい甘さは”the日本“を感じます。歴史的には弥生時代の遺跡から種が発見されているそうです。

そんな悠久の流れを感じつつ、ほっこり梨を味わい下さい。

なま落花生、今が旬です!

“なま(生)”の落花生の季節です。

落花生と言えば、煎った乾燥落花生を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、“なま”もおいしいのです。

殻のまま塩水でゆで、殻を割って中の実を食べます。

ホクホクでジューシーな“なま”ならではのおいしさ。

収穫時期の今だから味わえる、旬の味。

圧力鍋があると、ゆで時間は短縮できます。



▲すず辰のこぼれ話▽ 次の京とうふは9/3、5、7、10、12、14です。

ゴールデンタイムは22時から。

全体的に今のところ同世代の中では背が低い我が子たち。小6の娘になると、スイミングの試合で並ぶ同世代の子の中には大人顔負けの子もあり、20cm以上の差が。今140cmほどの身長ですが、遺伝的には160cmになる要素はあるようで。

先日から「背が伸びるためには22時から2時のゴールデンタイムにちゃんと寝る必要がある」って話をしたら、「22時までには寝る!」と目標ができてきて。

夜中ずるずるだったのが、少してきばきと行動するようになりました。吹奏楽部やってスイミングやって宿題やってと忙しい長女は早起きに挑戦。5時半起きにしたのはいいけれど、舟をこぎつつの勉強。まだ朝は弱いようです(笑)。

とても素敵な本に出会いました。イギリスで保育士をしているブレイディみかさんの「ぼくはイエローでホワイトで、ちよっとブルー」。“人種も貧富もごちゃまぜのイカした「元・底辺中学校」に通うことになった”息子さんの日常を描いた本です。
彼自身が日本人とアイルランド人のご両親から生まれた子で、自身のアイデンティティについて悩んだり、人種差別丸出しの移民の子とケンカして、でもほっとけなくて気づけば仲良くなったり、その一方でその子と敬遠の中の、黒人の子と仲良くなり、二人を仲良くできないかといろいろ画策してみたり。
そんな中で出てくるのが、表題の言葉。「エンパシーとは何か?」との授業の問いに、「ぼく」が答えたのが「自分で他人の靴をはいてみる(相手の立場に立ってみるという例え)」。

シンパシー(sympathy)が「同情や共感」といった、理解できる事柄に対しての自然な感情に対し、エンパシー(empathy)は、「自分がその人の立場だったらどうだろうと想像することによってだれかの感情や経験を分かち合う能力」とのこと。ちよっと自分の立場とは違う、理解しがたい相手の立場に「あえて」なってみて想像してみる力。まさに現代に必要な気がします。

国会論議も、非難合戦の水掛け論の平行線。本来であれば、もう少し相手の立場に立って、なぜこうも相手は反対するのか考えてみる努力が必要なのかなど思ったりします。

住む地域で貧富の差がある程度はつきりしてしまう階級社会のイギリスでは、他の階級の人は見たことのない、想像もできない人々で、「いない人」としてとらえられてしまうらしいも。

あえて「自分で他人の靴をはいてみる」そんな行為(能力)が今こそ必要なのだと思います。



すず辰マガジンがウェブで読めるようになりました↓



《すず辰について》

鈴木辰徳(辰年:43歳。12.9.7歳の3児の父)がH23に開業。「野菜で笑顔を結ぶ」をモットーに、作る人と食べる人の笑顔の架け橋となるべく、素敵なお農家さん、野菜果物のおいしさ楽しさをご提案。路面での販売“マルシェすず辰”を経て、H25/3/25念願の店舗オープン! マンガ“八百屋のエリー”絶賛応援中!
函館市本通1-24-3(店舗) 店前・店横駐車可。
平日11時半・土曜12時半開店 17時閉店(日祝日休み)
TEL/FAX:0138-76-9865 メール:suzutatsu831@ncv.jp
HP: <http://suzutatsu831.com/>